

令和5年度第1回中城村地域公共交通協議会  
議事要旨

日時：令和6年2月15日（木）10：00～12：00

場所：中城村役場3階大会議室

■出欠

- ・出席17名（うち代理4名）／欠席2名
- ・事務局（中城村企画課）

■議題

（1）規約等の制定について

①中城村地域公共交通協議会規約（案）

質疑・意見	回答・方針
前回開催した協議会の際は、道路運送法の規定に基づいたものであったと記憶しているが、既存の規約を廃止し、全面改正ということか。	村の協議会設置要綱はあるが、今後予算を組み、独立した組織として運営する当協議会の規約がないため、改正ではなく制定となる。

②中城村地域公共交通協議会幹事会設置規程（案）

→意見なし

③中城村地域公共交通協議会事務局規程（案）

→意見なし

④中城村地域公共交通協議会財務規程（案）

→意見なし

■その他

（1）護佐丸バスの現状報告と課題

質疑・意見	回答・方針
課題の系統路線の見直しとは、現在と別系統となるのか。	新たな路線が必要になる可能性がある。
久場回り線の第4便、「中小前」に14時54分に到着となっている。学校が終わるのが14時45分、その後ホームルームがあるため、バスの時間に間に合わせるのが厳しい。5分程度でも後ろ倒しに設定できないか。	1箇所の時刻を変更すると、それ以降にも影響が出てくるため精査は必要。また、最終便の到着時間も延びるため、運転手の委託契約との調整も出てくる。そこがクリアできれば、午後便（第3便）の出発時間を変更することで対

	応は可能と考える。
南城市では一般客と観光客の人数が分けられていた。データを分けることはできないか。	運転手が集計しており、可能か確認する必要がある。
老人クラブの集まりを午後1時頃から実施している。今までは老人福祉センターが添石にあり、護佐丸バスとの時間も合っており参加者も多かった。老人福祉センターの解体により、集まりを吉の浦会館で行うようになったが、バスの時間が合わず、参加者が減っている。中には東陽バス30番で来る方もいるが、当間バス停から吉の浦会館まで歩いて20,30分かかかる。バスの時刻表を集まりの時間帯に合わせることができないか。	一団体の集会に合わせてバスの時刻を変更すると、他への影響が出てくる。逆に、護佐丸バスの時間に合わせて集会を開催することはできないか。
護佐丸バスの対象は住民だけか。 観光客も利用できるように、中城城跡を通すことができないか。	護佐丸バスの運行を開始した当初の主たる目的は、住民の、特に高齢者の通院・買い物等の移動手段の確保、高校生の通学手段の確保であった。しかし、社会情勢も変化してきており、観光客も利用できるようにルート見直しをすることは必要と考えている。中城城跡を通すことで、北中城村が運行する「グスクめぐりん」との結節も可能となる。
護佐丸バスの運行を開始して9年目を迎える中で、運行前と現在とで、交通渋滞の解消に繋がっていないか、アンケートを実施できないか。	護佐丸バスの運行に向けたアンケートが実施されていたとして、平成26年度以前に実施されているはずであり、10年前のデータが残っているか、また当時の交通渋滞の状況がわかる項目があるか確認が必要。当時と比較できるか不透明ではあるが、令和6年度には住民や利用者等に対してアンケート実施を予定している。
年間利用者数が3万人、4万人と言われてもピンとこない。1日、1便あたりの利用者数を示した方がいい。	令和4年度の年間運行日数は、早朝便208日、日中便244日。 単純計算による平均値は、早朝便：伊集普天間線は15人/日、7.5人/便、久場琉大線は43人/日、21.5人/便。 日中便：伊集回り線は42人/日、8.4人/便、久場回り線は57人/日、11.4人/便。
運行収支の赤字が続いているとのことだが、内訳を精査し収	増収については、バス停のネーミング

入をバス運賃だけに頼らず、沖縄市のようにバス停のネーミングライツを活用する方法もあるのではないか。	ライツや車体における広告収入など、他市町村等の事例を情報収集しながら、護佐丸バスに適した方法を検討していきたい。
利用者を増やす一例として、移動手段というだけでなく、乗ることを目的とする取組みもある。例えば、子ども達に描いてもらった絵を車内に貼り、バスに乗車しないと見られないため保護者が利用してくれるなど。	様々な取組みについて情報収集し、検討していく。
運行収支の赤字縮減という観点から、運賃の値上げという選択肢もあるのではないか。「地域の交通は地域が守る」という心構えで、民間や行政だけでなく、地域住民も負担していくという考えも必要。	運賃値上げについては、これまで考えがなかった。値上げしても利用する方がいるのか、アンケート項目に盛り込んでいきたい。
公共交通としてタクシーもあるが、運転手不足により稼働数が減少している。今後ライドシェアの導入も検討してほしい。	バス運転手だけでなく、タクシー運転手が不足していることは承知している。最近、石垣市もライドシェアを導入した。本村においても導入が可能か、計画に盛り込むべきか、検討していきたい。
集計の区分で、高校生と一般に含むのではなく、分けることはできないか。	集計は、運転手が手作業で行っている。対応が可能か調整を要する。

## (2) シェアサイクルの取組み

質疑・意見	回答・方針
月次・年次報告書のデータとして、平日・休日だけの区分でのデータは意味がない。平日は5日間、休日は2日間と日数が違う。	1日毎、曜日毎のデータがないか確認する。
中城村は50台分の自転車を購入し、業者に委託している。他市町村とも連携し、こういったデータがほしい、自転車の戻し作業の頻度を上げるなど、もっと強く言ってもいい。	運営業者と何度か調整しているが、状況は芳しくない。他市町村の状況も聞きながら対応していく。
同じステーションでの発着については、個人情報の観点から難しいかもしれないが、業者からGPSデータをもらって分析できないか。もしくは、利用時間や移動距離のデータをもらえば、ある程度利用目的が推測できるのではないか。	確認する。
観光客が利用しやすいよう、上地区と下地区を分けると利用しやすくなるのではないか。キャッシュレス決済の種類がどのくらいあるのか。種類が多ければ利用しやすくなる。	ペイペイ等の電子決済やクレジットカードでの支払いができる。種類は確認する。

(3) 中城村地域公共交通計画の策定に向けて

→意見なし

■次回協議会の開催について

(1) 令和6年度予算(案)について ※書面開催を予定

→意見なし